

※本製品および電装品・接続機器の取り付け・取りはずし・操作は、必ず安全な場所に停車して行なってください。  
 ※取付作業は常温下で行なってください。炎天下や極端な低温時には行なわないでください。

## 車両への取付・取りはずし方法

※本製品の脱着の際は、安全のために、必ず電装品・接続機器をはずし、アクセサリソケットに通電していない状態で行なってください。

**取付準備** 取り付ける前に必ず本製品の通電確認およびスマートフォン/携帯電話等との接続動作確認をしてください。

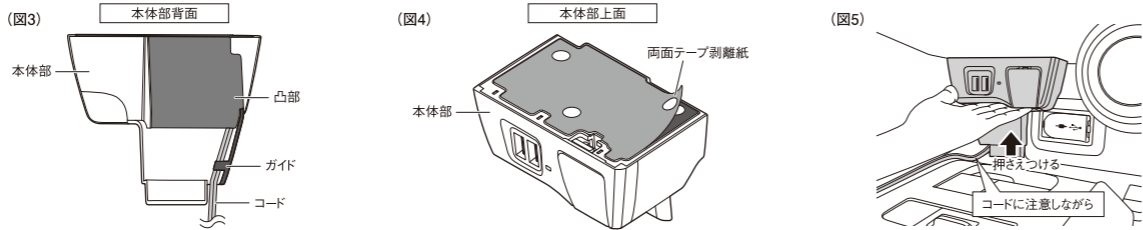
- ①コンソールボックス内のアクセサリソケットに本製品のカーブラグ部を挿し込み(図13)、車のエンジンをかけてください。通電モニターランプ(ホワイト光)とUSB用通電モニターランプ(ホワイト光)が点灯します。(図15)
- ②点灯確認後、**接続機器の使用**方法を参照してスマートフォン/携帯電話等の接続動作確認をしてから、エンジンを切り、取り付けを開始してください。

**取付方法** ※本体部・コード隠しカバー・コード隠し用不織布テープを取り付ける前に取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ってください。(脱脂作業)

**1** 内装に傷を付けないように本体部の上面をフロントコンソールの天井にあてた状態で本体部背面の凸部をフロントコンソールの凹んでいる箇所にはまるようにあてがい、取付場所を確認します(図1・図2・図3)。その際、コードは本体部背面のガイドに挟むように沿わせて取り回してください。(図3)

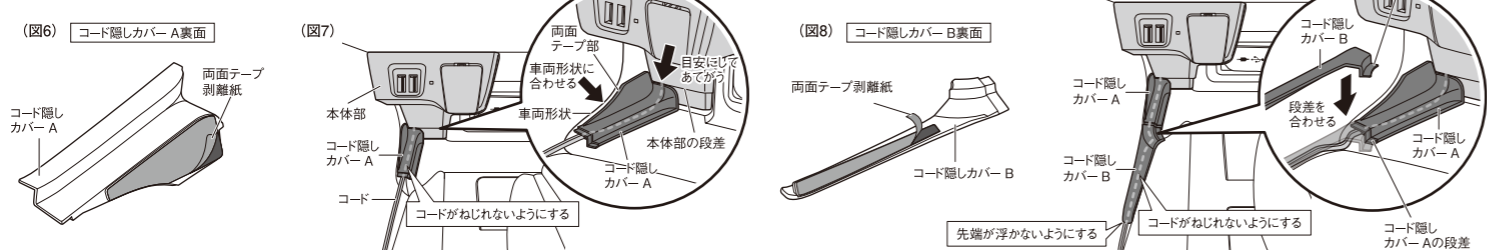
**2** 本体部上面にある両面テープ剥離紙をはがし(図4)、**1**で確認した取付場所に一度でしっかりと貼り付けます。コードをフロントコンソールと本体部の間に挟まないよう本体部背面のガイドに注意しながら図5のように下からしっかりと押さえつけ、両面テープを貼り付けてください。

- 注意**
- ・貼り付けの際、本製品に無理な力を加えたり、歪めたりしないでください。
  - ・両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けたらしないよう注意してください。
  - ・両面テープの貼り直しはしないでください。
  - ・両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまでは本製品に強い力を加えたり、使用したりしないでください。
  - ・本製品を取りはずす際は、内装を損なわないよう十分注意してゆっくりと取りはずしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはかき剤を使用してください。
  - ・貼付面を傷める場合があります。



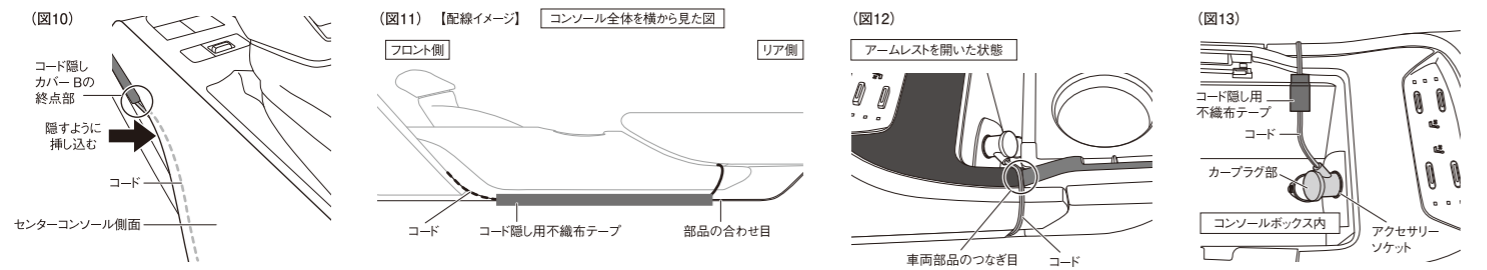
**3** コード隠しカバーA・Bの取付場所を確認後、コードを配線します。  
 ・コード隠しカバーAは、本体部の段差を目安にし、両面テープ部と車両の形状が合うようにあてがいます。(図7)  
 ・コード隠しカバーBは、コード隠しカバーAの段差とコード隠しカバーBの段差が合うようにあてがいます。(図9)  
 取付場所が確認できたら、コード隠しカバーA・Bの裏面の両面テープ剥離紙をはがし(図6・図8)、コードを配線しながら貼り付けます。(図7・図9)

- 注意**
- ・配線の際は、コード隠しカバー内でコードがねじれないようにしてください。(図9・図10)
  - ・コードを引っ張らないように注意してください。
  - ・コード隠しカバーBの先端が浮かないように貼り付けてください。(図9)



**4** コード隠しカバーBの終点部からコードを車両のすき間に挿し込んでセンターコンソール側面までコードを隠します(図10)。コード隠しカバーで隠れていない部分のコードをセンターコンソール側面の部品に合わせて目に沿わせて配線します。付属のコード隠し用不織布テープを配線したコードが隠れる長さに合わせてハサミ等で切り、コードの上から貼ってコードを隠します。(図11)  
 ※コード隠し用不織布テープは次の工程でも使用しますので紛失しないように注意してください。(図13)

**5** アームレストを開き、図12のように車両部品のつなぎ目に沿わせて配線し、アームレストを閉じてコードが挟まらないことを確認してから、コンソールボックス内のコードを、コード隠し用不織布テープで貼り付けます。(図13)



**6** 車のエンジンを切った状態(ACCもOFF)で、アクセサリソケットの内側をよく掃除します。  
**注意** ・アクセサリソケット内に汚れがあると、接触不良の原因となり、発熱・発火等のおそれがありますので、よく掃除してからカーブラグ部を挿し込んでください。

**7** 本製品のカーブラグ部をコンソールボックス内のアクセサリソケットの奥までしっかりと挿し込み(図13)、車のエンジンをかけます。

- 注意** ・カーブラグ部が確実に挿し込まれていないと接触不良やカーブラグ部が溶解するおそれがあります。

## カーブラグ部の取りはずし方法

・カーブラグ部は落下防止のため、固めの設計になっています。カーブラグ部をアクセサリソケットから抜く際は、コードを持たずにカーブラグ部を持って、指でアクセサリソケットを押さえながら徐々に抜いてください。(図13)

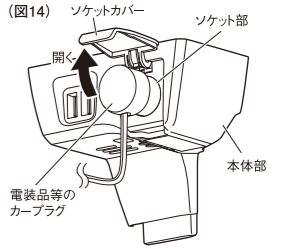
- 注意** ・取りはずす際、カーブラグ部が熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

## ソケット部について

### ソケット部の使用方法

・ソケットカバーを開いて、ソケット部に電装品等のカーブラグを挿し込んで使用します。(図14)

- 注意** ・電装品等のカーブラグを挿し込む前に、車のエンジンを切った状態(ACCもOFF)で、ソケット部の内側をよく掃除してください。汚れていると、発熱・発火等のおそれがあり、大変危険です。



### 電装品等の取りはずし方法

・必ず本体部を押さえながら電装品等のカーブラグをしっかりと持ち、徐々に抜いてください。(図14)

- 注意** ・本体部を押さえずに電装品等のカーブラグのみを抜くと、本製品のはがれや破損の原因となります。  
 ・取りはずす際、カーブラグが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

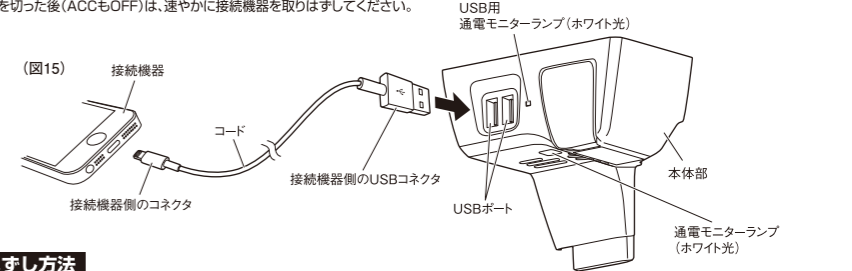
## USB充電について

### 接続機器の使用

・接続機器側のUSBコネクタをUSBポートへ接続します。(図15)

※USBコネクタには挿し込み向きがあります。無理矢理挿し込みます。コネクタの向きを合わせて挿し込んでください。

- 注意**
- ・USBコネクタによっては挿し込みにくい場合があります。ゆっくりと確認しながら挿し込んでください。
  - ・USBポートにUSBコネクタを挿し込んでいる際にUSBコネクタに無理な力を加えないでください。
  - ・USBコネクタは奥までしっかりと挿し込んでください。無理に挿し込んだり、引き抜いたり、傾ける等の挿し込み不良があるとメモリーデータ破損・消失や故障の原因となります。
  - ・車のエンジンを切った後(ACCもOFF)は、速やかに接続機器を取りはずしてください。



### 接続機器の取りはずし方法

・接続機器側のUSBコネクタをUSBポートから抜いてください。(図15)

※USBポートは接触不良防止のため、固めの設計になっています。USBコネクタを抜く際は、コードを持たずにUSBコネクタを持ち、必ず本体部を押さえながらUSBコネクタをまっすぐ抜いてください。

- 注意** ・本体部を押さえずに接続機器側のUSBコネクタのみを抜くと、本製品のはがれや接続機器破損の原因となります。  
 ・取りはずす際、USBコネクタが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

## USBで給電・充電する際の注意

- 連続使用時間が長い場合や充電条件により、本製品内蔵の保護回路が作動し、充電が止まったり(USB用通電モニターランプが消える)、断続的な動作になる(USB用通電モニターランプが点滅する)場合がありますが、回路を保護するためであり故障ではありません。そのような場合は、一旦接続機器を取りはずし、時間をあけて使用してください。
- 一部の機種では電池残量がゼロの状態では充電ができない場合があります。純正の充電器(家庭用AC)で5~10分程度充電してから使用してください。
- 充電時間および充電後の使用時間は、機種・電池/パックの種類・状態・使用環境によって異なります。
- 充電中に接続機器を使用すると充電時間が長くなります。
- 機種によっては充電しても接続機器側の充電レベルが表示しない・変化しない・満充電にならない場合があります。
- 本製品の連続使用は2時間までにしてください。充電される接続機器の電池/パック寿命の低下につながるおそれがあります。また、USBコードの抜き差しによる接続機器の破損等の原因となります。
- 接続機器の充電完了表示に関しては、接続機器に付属されている取扱説明書を確認してください。
- 接続機器の電池/パックが古くなっていたり、故障している場合は充電できません。新しい電池/パックへの交換をおすすめします。
- 30分以下の短時間の充電では電池表示レベルが上がらない場合があります。
- 本製品・接続機器・電池/パックが高温になった場合や発煙・ショートがあった場合には直ちに使用をおやめください。
- 車のエンジンを切った後(ACCもOFF)は、速やかに接続機器を取りはずしてください。

## 通電モニターランプ/USB用通電モニターランプについて

●本製品の通電モニターランプ/USB用通電モニターランプが消えた場合は、直ちに本製品から接続機器を取りはずしてください。接続機器のショート・故障等の発生によるヒューズ切れや、最大許容出力電流を超えている可能性があります。接続機器を取りはずした後に、通電モニターランプ/USB用通電モニターランプが再度点灯した時は、本製品のヒューズ切れや故障ではなく、接続機器のショートや故障等が発生している場合があります。

## 警告 ご使用前に必ずお読みください。

- 運転操作やエアバッグ等の作動に支障のないように使用してください。
- 異臭・発熱・発煙・発火等の症状がみられた場合は、直ちに本製品を取りはずし、使用をおやめください。
- タバコの火等、火気を近づけないでください。火災の原因となります。
- 走行中、運転者は本製品の操作および電装品・接続機器等の脱着・操作はしないでください。事故の原因となります。

## 注意 ご使用前に必ずお読みください。

- 用途以外の目的で使用しないでください。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
- 本製品を使用する際には車のバッテリー保護のため必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 本製品のUSBポートやソケット部に、電装品・接続機器等のUSBコネクタやカーブラグ以外の物を挿し込まないでください。
- 本製品の使用により、本体部・USBポート・ソケット部に傷が付く場合があります。
- 本製品は金属部分が熱くなる場合があります。使用の際は注意してください。
- 本製品には鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 本製品は使用状況や経年変化により、変色・劣化等が発生する場合があります。
- 使用温度範囲外では使用しないでください。
- 本製品が発する光を直視したり、運転者や車外に向けたりしないでください。
- 濡れた手でその操作や水分がかかるような状況では絶対に使用しないでください。
- カーブラグ部をアクセサリソケットに挿し込んだまま回転させないでください。
- コードに負荷をかける・根元を回す・引っ張る・束ねる・重いものをのせる・強く押す等の行為をしないでください。
- 本製品の分解・改造・加工等は絶対におやめください。
- 破損・故障・感電・ショートの原因となります。
- ソケット側のヒューズ交換時は、必ず指定のヒューズを使用してください。
- 指定外のヒューズを使用すると、発熱・発火等の原因となります。
- ヒューズはカーブラグ部の中に入っています。交換方法は右記を参照してください。(図16)
- USB側のヒューズは内蔵タイプです。ヒューズが切れるとUSBポートは使用できなくなります(本製品のUSB用通電モニターランプが点灯しない状態)。なお、USB側のヒューズは交換できません。
- 走行状況や悪路・段差等の路上環境により、本製品・電装品等のカーブラグや接続機器のコネクタがゆるみ、確実な通電が確保できなくなる場合があります。使用前に奥で挿し込まれているか確認してください。

